

杉 忠重(すぎ・ただしげ)

昭和17(1942)年生まれ。学習院大学政経学部卒。昭和40年三菱地所株式会社に入社、事務課長、能力開発部長を歴任。平成12年株式会社メックヒューマンリソース取締役社長、平成20年東洋学園大学教授、人材育成学会理事等役員に就任。平成17年社団法人「小さな親切」運動本部理事に就任、13年間理事を務める。



13年の長きにわたり運動を支えて下さった杉忠重氏(76歳)が、平成30年10月11日永眠されました。

「他の役職等は退いても、『小さな親切』運動だけは辞めたくない」とおしゃってくださいました。もちろん、弱気を打ち消してもらいたくて、先輩を励ました。

同期の友を除けば、卒業後もお付き合いを続けて下さった唯一の先輩でした。

「小さな親切」運動全国表彰式の帰り道、先輩は「もうそろそろだな、理事も」と気になる言葉をポツリともらしました。もちろん、弱気を打ち消してもらいたくて、先輩を励ました。

大学を卒業し、僕は絵の道に進みました。先輩はよく展覧会に来てくださいました。殊に、東京都美術館で開催される現代童画展には毎年足を運んでくださり、感想を伝えてくれました。僕の絵を長年見続けてこられた恩

人のような存在でした。

先輩は、郷里に小さな美術館を持ちたいと夢を語られました。そして、ぼくの作品もコレクションの仲間に……。信州の駒ヶ根高原美術館まで遠路お出かけになられ、購入されたのです。父親を早く亡くした僕には、先輩がときには父親のようにも思えたのです。

その杉先輩が天に召されたなんて信じられません。ニコニコ笑顔でふらつと現れるような気がしてなりません。謹んでご冥福をお祈りいたします。

合掌

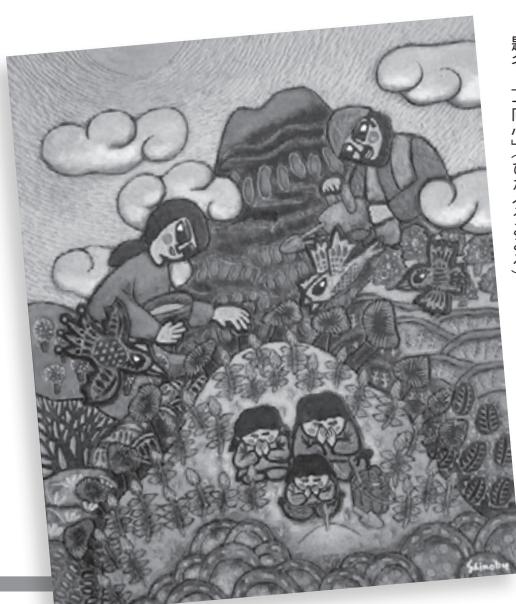
(有賀忍／板絵画家江戸川大学こどもコミュニケーション学科客員教授)

昨年秋、杉忠重さんが逝去されました。尊敬する先輩の突然の訃報に、哀惜今なお深く止みません。

杉先輩との出会いは、大学の広告研究会でした。当時としては新しい感覚のクラブ、広告研究会を立ち上げたのが杉先輩でした。理論部門と制作部門があり、先輩は理論部門を指導されました。

制作部門の有賀に、「お前はいいな。表現は楽しいだろう」と仰って、デザインやイラスト等にアドバイスを下さいました。聞けば、絵が好きで展覧会めぐりが趣味とのこと。飲み会などでは、先輩と芸術の話をしたものでした。

先輩は、郷里に小さな美術館を持ちたいと夢を語られました。そして、ぼくの作品もコレクションの仲間に……。信州の駒ヶ根高原美術館まで遠路お出かけになられ、購入されたのです。父親を早く亡くした僕には、先輩がときには父親のようにも思えたのです。



題名 「向心(ひなづむじこ)